

東京都地方独立行政法人評価委員会 平成21年度第2回試験研究分科会
議事概要

- 1 日時：平成21年8月4日(火) 13時30分から17時00分まで
- 2 場所：東京都庁第一本庁舎33階南側 特別会議室S5
- 3 出席者：板生委員、泉澤委員、鞠谷委員、根本委員
- 4 議題：1 審議事項
 - (1) 平成20年度産業技術研究センターの業務実績評価(案)について
 - (2) 産業技術研究センター中期目標期間に係る事前評価(案)について
 - (3) 財務諸表、利益処分に対する意見聴取について
- 2 その他

5 議事概要：

- (1) 平成20年度産業技術研究センターの業務実績評価(案)の検討

<項目別評価>

資料1により28の項目別評価の単位ごとに評価を決定し、評価説明文について検討した。

【委員意見】

項目5 製品化支援(機器利用、環境試験センター)

- ・知的財産にかかる相談窓口の実績が、44日で74件という少ないように思えるが実態はどうなっているのか。

項目7

- ・区市町村との連携を含め、産技研としての支援のあり方、コーディネートを中長期的な視点から計画を立てて、継続していくことが望まれる。
- ・産学公の連携については、技術的側面で産技研が果たす役割に関し、見せ方を考えていく必要がある。

項目8

- ・「都市科学・産業技術連携戦略会議」を設置したことは評価できるが、今後、具体的な実績が出てくることを期待したい。

項目11

- ・15社に特許を使用許諾している割に、特許使用料が少ないと思われるので、今後の奮起に期待したい。

項目14

- ・遠隔相談システムの利用数が少ないので、今後は一層の活用を図っていく必要がある。

項目16

- ・業種別交流会について、20年度の実績がない交流会が9団体あるため、活動の実態を踏まえた整理が必要である。

項目 17

- ・それぞれの研究テーマについて、もう少し積極的なアウトプットを出す必要がある。
- ・研究員が、基盤研究で成果を出し、産技研から他の大学に移っていけるような研究機関であることが望まれる。

項目 19

- ・どこまで外部資金をとってくるのが必要で、どこまでは自前のお金でやるんだということを、どこかで線引きしておかなければならない。
- ・基盤研究との適正な配分を考慮してやっていくべきである。

項目 25

- ・セキュリティ管理については、更なる高度化が求められる。

項目 26

- ・組織体制を固めたところまで進んでいるので、今後、組織をどの様に運営していくかを考えていくことが重要である。
- ・財務会計のセグメント情報は、現在の組織別に算出するだけでなく、技術支援や研究開発の主要な業務毎に内容が管理できるような体制を整備していく必要がある。

<全体評価>

資料2により全体について評価を決定し、評価（案）について検討した。

【委員意見】

- ・全体評価結果については、「業務全体が優れた業務の進捗状況にある」が妥当。
- ・大きく分けて、適正なバランス・リソースの配分の問題及び内部の管理に関する問題があり、これから検討していく必要がある。

(2) 産業技術研究センター中期目標期間に係る事前評価（案）について

<項目別評価>

資料3により、項目別に評価説明文について検討した。

【委員意見】

項目 1 新製品・新技術開発や新規事業分野への展開のための事業化支援の推進

- ・ものづくりだけでなく、サービス産業にも力を入れるべき。環境や福祉など非ものづくりの分野はたくさんある。
- ・産学公連携について、着実に取り組んでいることは評価できるが、具体的成果を目指して遂行することが肝要である。

項目 2 試験・研究設備と専門的知識等を活用した技術協力の推進

- ・産技研の事業が、中小企業に対しどの程度の経済波及効果があったかということについて、更に精度の高分析を行い、客観的に評価をするべきである。

項目 5 業務運営の改善及び効率化等

- ・業務運営の効率化については、様々な取組みを実施しているが、更に内部統制の充実を図っていく必要がある。

<全体評価>

資料4により全体について評価を決定し、評価（案）について検討した。

【委員意見】

- ・全体評価結果については、「業務全体が優れた進捗状況にある」が妥当。

(3) 財務諸表、利益処分に対する意見聴取について

事務局から資料3～4により、財務諸表と利益処分について説明。

【委員意見】

- ・財務諸表について、損益計算書の中に、業務費の中の業務費、それから一般管理費の中の業務費として、それぞれ14億円と12億円大枠で計上されているが、内容がこれではわからないので、主要な業務毎に内訳をつける等の工夫が必要である。

(4) その他

事務局から、次回以降の分科会の日程等について案内。

以上